

母の姿
デザインを行う彼。
画、
大だ。
レバーリング、
と化する。

ファッションには大工のようなもの。
彩られ、変化して刺激的だから魅了される。

——道端カレン(モデル)

美意識という鎧を身に纏い、
ファッションという虚構の世界を生きる。
創造のために、孤独は常に隣にあるもの。強く共感した。

——コシノヒロコ(ファッションデザイナー)

ファッションフリークにはたまらない!
カールの素顔は本当、チャーミングでシンプル!!
今年1番のドキュメンタリー!

——IVAN(モデル/タレント)

私はヤミヤミとファッションゴスガール・ラガーフェルド。

——叶恭子(ライフスタイルプロデューサー)

伝統を見事に裏切る大胆かつ美しい服作りで、
世界中の女性を虜にしているカール・ラガーフェルド。
妥協のない美意識に、感銘を受けました。

——叶美香(ライフスタイルプロデューサー)

私の目と耳はフル回転!!
カールの一挙一動 見逃さないで。
カールの言霊 一言一句 聞きもらさないで。
美センスぎっしり詰まった
『お洒落の末末永劫』行きのチケットを
必ずプレゼントされるはず。

——萬田久子(女優)

誰もが想像し得なかったドキュメンタリーが完成。
スーパーモデルたちに服を着せる天才の、
幼少時代の思い出や孤独、創作現場が
徐々に脱がされていく。

——ヴィヴィアン佐藤(ドラッグクイーン)

カール大帝に「意外な素顔」はない。
予想通り強烈で、冷酷で、暖かく、カワイイ。
しかし、この作品を見ない限り
その姿は絶対に見れない。

——菊地成孔(音楽家・文筆家)

いやー、実に悔しいね。
この映画を見てさえいれば、
俺もあの時失敗しないで済んだはず。
きっと人生観が変わっていたことだろう。

——ドン小西(ファッションデザイナー)

「実像には興味がない」と語る天才が、
実像を語る。
そんなカールこそ理不尽で
魅力的なファッションそのもの。

——中野香織(エッセイスト)

経歴からくる彼の直観的な素早い
判断力にいつも感心させられます。
僕もそこを目指します。

——加茂克也(ヘアデザイナー)

カール・ラガーフェルドの服は、
モノトーンな日常やつまらない常識と
戦うための戦闘服。
人を傷つけない、最高に美しい戦闘服。

——野宮真貴(シンガー)



LAGERFELD CONFIDENTIAL

REALISM FILMS and GREGORY BERNARD present LAGERFELD CONFIDENTIAL. A Story by REGISSEUR MARCO
Delegate Producer GREGORY BERNARD for Realism Films Associate Producer SHINJI KANEKO
Editor LAURE MERCIER Assistant Director LIOVA JEDLUCKI Sound NATHALIE WIGAL
Executive Producer MATTHIEU WARTER
© 2014 REALISM FILMS. Produced in association with Warner Bros. and Culture & Sport. Distributed by Warner Bros. Home Entertainment
with Bino Barakati (Distributeur Lagipresse Jérôme Stry) with the participation of 'Piscine' (Bino Barakati) (Distributeur Lagipresse Jérôme Stry)
International Sales Films Distribution: Phyllis B.S. Murphy Singapore (China) Guizhou, Thomas Pflanz